

## 第4回 12月17日（火）学校運営協議会

☆2学期までの学校運営について説明し、ご質問、ご意見、ご要望をいただいた。

○竹細工の竹とんぼ作りでは、幼少期に自分たちが自然を相手にしてきた遊び。それを小学生と一緒に作ってきた。苦労して自作すると大切にする。そのような愛着も学んでいるのではないかと思う。

○冬祭りとは、どんなことをするのか。

校長) 3～6年の各学級が工夫をこらしてイベントブースを企画し、お店屋さんをする。

○学校で活動したことが、地元豊平に帰ってきたくなる体験になっていくとよい。今から種をまき、10年後に花が咲くように。そのために、地域の方々を巻き込んで取り組んでいくことが大事。学校だより『Let's Try!』の回覧やホームページなどで地域に伝えて、参加してもらえることはしてもらってはどうか。

○各区行事について、より角度づけをしていくとよいと考える。例えば高学年は、伝統やSDGsに意識を向けていくなど。

○地区の活動として、『クリーンウォーク』を実施した際には、曇天にもかかわらず、大勢の親子が参加した。体験していくことの大事さを感じた。次の企画『星空観察会』は、あまり人が来なかった。小規模だからできることを大事にしていきたい。異学年や異年齢との関わりを大事にしたい。

○最近の不登校の理由のトップは、「やる気が出ない」「おもしろみがない」などと言われている。豊平の子どもたちは、

校長) 学校に楽しみがあるか。学校に行きたいかどうかはとても大事。子どもの中に、ワクワク感があるかどうかや、人間関係が大きい部分を占めていると思う。

○寒い校庭でも、元気にサッカーボールを蹴っている姿を見ると、嬉しくなる。



☆以下の①～③について、原案を提示し、ご質問、ご意見、ご要望をいただいた。

①北部中学校区縄文のビーナスプラン2

- 「相手の気持ちに立ちながら 自分を表現する」という文言がとてもよいと思う。  
そのような子どもに育ててほしい。

②来年度の学校行事

- 児童の健康状態と新入生の育ち、季節感等を加味して、考えてほしい。
- できることなら体験をたくさんさせてあげたい。

③課外クラブ活動

- 小規模校ではあるが、合唱も金管も子どもたちが満足いくように、活動を進めてもらいたい。

多くの建設的なご意見をいただきました。今後の学校運営に生かしていきます。

